

参議院選挙をふりかえって

参議院選挙が終わった「政治とカネ」そして普天間基地移設の問題が争点化されると思われた選挙は、消費税増税論に埋没され、全くといってよいほど話題にならず終わりをむかえた。

何故こんな選挙になったのか不思議に思う国民の存在があることを政治家は知るべきである。また政治家だけでなくマス・コミも猛省すべきである。

マス・コミに左右される世論

去る6月はじめ民主党の鳩山・小沢両氏が辞任した。所謂「政治とカネ」そして「普天間基地移設」最低でも県外」と云う約束に係り政権内部の結束力の乏しさと行動力脆弱の体質が事態の解決を適確に進められず退陣したものである。

「争点ばかり」の選挙

かわって登場した菅内閣は参院選に当たり「争点ばかり」の手段の一つとして消費税問題をとりあげた側面が読み取れる。選挙期間中「政治とカネ」そして中途半端な「普天間移設未処理問題」が野党の追及の的に相上することを恐れ、論点を消費税に移したと見る考え方があふ。消費税増税は自民党や財界から反対攻撃を受けることが乏しいという「読み」があり、普天間や政治とカネ論争から逃れる手段の選挙戦である。

この時・沖縄の動きは

しかし、この選挙期間中沖縄では米軍普天間飛行場問題はくすぶり続けていた。(報道機関が報道しなかっただけである) 七月九日には沖縄県議会が日米共同声明(辺野古移設を内容とする)の見直しを日本及びアメリカの両政府に要求する意見書を決議している。

このことを見ても判るように、選挙期間といえども沖縄では5月望し、政治に不信感を増大させている現実が歴然としていた。普天間基地の実態が徐々に国民に伝わり、世界一危険な基地とアメリカの高官も認め、県民が60有余年様々な人的・物的被害と犠牲を受けた苦しみの様相は本土にも広く周知された。従って沖縄問題は選挙の争点になり大きく論争されるものと思われた。しかし、選挙に入る

「沖縄の怒りと低投票率」

今回の参院選投票率で沖縄が最も低いことが報道されていた。米軍普天間基地撤去問題に係り県民総がかりで移設に取り組んだ沖縄県が、国政に無関心であるはずがない。信じがたい結果である。しかし、沖縄県民が失

以来の基地問題は継続され続いたのである。

報道機関の意図で沖縄問題が縮小されると「報道の縮小」即ち「世論の縮小後退」に変化し、沖縄問題が昨日のこととして後退したのである。

そしてマス・コミは消費税問題を積極的に煽りはじめた。選挙という名目と、政治家の主張という美名によりどこを求め民衆の関心と動向に背をむけた消費税増税導入への先導的報道が続けられたのである。まさに「世論誘導」である。

むすび

選挙が終了新しい政治が動き始める。民主主義日本を確立するために日本国憲法の理念はいまこそ大切である。

この理念を国民みんなのアイデンティティーに発展させ、公正な政治、公正な世論づくりをしなればならない。

片寄ったマス・コミ報道の検証と批判も必要である。すべての国民が自覚した「公衆意識」を得なければならぬ。そして、日本社会の平和と文化を確立、国際的には友好・互恵・対等の国家関係を築きたいものである。

とその実状は全く違い、沖縄問題はボカされ通して終始した。

他方沖縄県民は県民意思に全く反する辺野古「移設」が日米合意として実行され始めようとする姿に、政府の背信を知り怒りを強化したことは必然である。

沖縄問題は国民全体の問題である。憲法九条を大切にすることを本である。連帯を深め共通の課題としたい。

進藤 盛隆

世界一危険な沖縄普天間基地、すぐ側に保育所や学校、日々騒音と危険にさらされながら生活している人々。普天間基地を移転すると決まってから何年も経つのに・・・憤りを感じ、実態を自分の目で確かめることから行動しようとする人々が増えている。沖縄の心の広さに感動しました。エマルドグリーンに輝く美しい海、ジュゴンやサンゴなど多様な生物が生きている辺野古の海、そして豊かな漁場、この海を子どもや孫たちに残したいと、基地反対を訴えているテント村へも行きました。私は辺野古への基地移設は断固反対！全ての基地撤去！の思いで、座り込みの青年と連帯の握手を交わしました。

沖繩を旅して

田阪 由美
案内してもらっている時に聞いた話ですが、道路工事の折、不発弾が爆発し、近くの老人ホームでは爆音と振動で窓ガラスが割れ、お年寄りの数人が戦争時を思い出し、心のケアを必要とするほどパニックになられたとのことでした。「ガマ」には今もつて葬られない遺骨がたくさんあり、ガイドの方はつい最近大人の掌に納まる小さなシャレコーベを捜し出したと。戦後65年たった今も戦争の悲惨な傷痕があることに心が痛みました。

戦跡と基地を巡る

沖繩戦は、米軍による本土決戦を遅らせるため、沖縄を捨石にするものでした。結果、三ヶ月間にわたる激しい攻撃を受け、20数万の人命が奪われました。



沖繩・辺野古海岸

常磐野9条の会 連絡所設置

【中部連絡所】

太秦蜂ヶ岡町10-65
川口 久彬宅
872-4133

【西部連絡所】

太秦乾町30-32
山川 忠一宅
881-8593

連絡所設置にご協力を！

申し出をお待ちしています。

基地・抑止力を どう考えるか

9条の会への賛同を求めますと、北朝鮮や中国のこともあるし、抑止力が必要ではないか?、沖縄には気の毒で負担もかけるが、基地は必要ではないか?、憲法九条を守るためには、憲法を現実にも照らして、モット深めていくことが大切ではないか?といった疑問が聞かれます。これらの疑問は真剣に考えれば当然だと思えます。何故なら人間には恐怖心や不安があり、暴力に対する防衛本能があるからです。

私はこのことを認めたくなくて、「暴力に対する抑止力や軍事基地」について少し考えていることを述べたいと思います。

犠牲の押し付けと負担
沖縄の現状は「気の毒・負担」などの言葉で表すのはまともな認識ではないと思います。特に基地周辺の人々は年中肺腑を抉り切り裂くような爆音と墜落の恐怖に晒されているのが実態です。そのような状況は「気の毒とか負担」とか言えるものではなく、沖縄の人々に「甚大な犠牲」を押し付けているのです。今回、沖縄の人々は

「本土は沖縄を差別している」と言いました。このことを私たちはしっかりと受け止めていく必要があると思えます。

本場の抑止力とは
国民の生命の安全を守るためには戦争と云う暴力に対する抑止力は必要でしょう。

問題は「抑止力」の内容です。私は抑止力が軍備や武力に頼るものなら本場の抑止力にはならないと考えています。軍備・武力が相手より優位に立っていないければ抑止力になりません。そうしたら、軍拡は際限なくいたちこつて

現在、「最強の武力」は何でしょうか、それは「核」です。したがって最大の抑止力は「核」「核武装」と云うことにならざるを得ないでしょう。核を持つということは核を使うことを前提にしてこそ核の持つ価値があります。核による抑止力は核使用につながります。アメリカの核に頼るにしろ、もしも再び核を使用したなら一九四五年八月六日・九日に原爆投下で命をなくした人々はどう思われるでしょうか? 核爆弾で日本人の生命を守ったとしても本当に喜ばれるでしょうか?

土井 大助

今こそ人知を!
核兵器廃絶実現をめざして
二一世紀の地球よ、目を覚ませ。

前世紀最大の慟哭に しかと耳をすませ
核兵器をもち、もつとする国の指導者よ、
被爆地へ来て、死者と、被爆者の声をきけ。
今ならまだ、人間の命の地声がきけるのだ。
この地上のどんな残忍な犯罪にもまして
核兵器は、永続虐殺の手段にほかならない。

核兵器は、永続虐殺の手段にほかならない。

日本国憲法9条こそ抑止力
私たち自身が「9条」の理念に誇りと自信を持ち、さらに世界に発信していくか求められています。

世界の潮流にしたがって、日本も日米軍事同盟でなく日米友好平和条約に切り替えていくことこそ、本場の抑止力になると考えます。勿論、単純な道ではないでしょうが!

選挙後の危ない芽
参院選の結果を「9条の会」の立場から考えてみました。「9条の会」の目的は「戦争をしない・させない世界を創る」ことにあります。戦争の原因は様々ですが根元には貧困や言論や思想・表現などの抑圧があると思えます。

この観点から選挙結果を見ますと「9条の会」としては安閑としておれないのは、自民・民主をはじめ少数政党の多くは「改憲指向派」です。そして、9条を支える「憲法二十五条(生存権・幸福追求権)」の立場からは「消費税増税法人税減税の穴埋め用」指向政党が増えたことも大変なことです。更に見逃せないことがあります。それは経費削減のために国会議員自らが身を削れという国民受けをする言い方で、国会議員の

核兵器の保有事態が、その大犯罪の予備行為だ。世紀をこえて、この迷妄の手は伸び続けてきた、「抑止力」という名の地獄絵の下書きで。

この魔性が人知か、人知の極か。
最悪の産物の廃絶ができなくて、何の人知か。
被爆者の慟哭を絆に、熱い握手を広げよう!
同時代の全ての人々よ、運命をかけたつながりともことの人の知で、地球を輝かせようではないか!

詩人会議 詩のパフレットより



7月9日定例宣伝

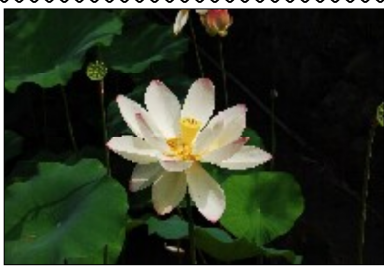
定数削減をマニフェストで掲げていることです。民主党は衆議院比例定数を80削減、自民党も削減を主張しています。このことは多様な民意を葬り去るもので政党支持の自由と権利を侵害するものであり、民主主義の社会として容認できません。

持明院昌夫

嵯峨野 花ごよみ
夏の暑い時期に、池や沼できれいな花を咲かせるハスは、すいれん科の多年草です。名前の由来は花床が蜂の巣に似ているところからハチス、これがハスになったと言われています。中国名は蓮で、日本へは仏教とともに、中国から入ってきたと言われていますが、野生説もありです。
「大賀ハス」は、二千年前のハスの実から花を咲かせたことで有名です。大沢池のハスは、草魚を放して食べさせたため少なくなりました。「法金剛院」の観蓮は有料です。

ハス

梅雨のさなかに行われた参議院議員選挙は「民主大敗、与党過半数割れ」となりました。原因は、消費税の引き上げ、普天間基地の移設問題、など、こんななか「仕分け」で活動された蓮さんは百七十一万票もとって当選されましたが、私が通っているマツサージで選挙中の会話を紹介します。
「なんで日本に軍艦がいるのや」
「アメリカの基地移設になんで金を出さなあかんのや」
「イギリスに学んで皇室も少し始末したらどうや」
「蓮さん、これからもがんばってください。」



(上島)